

議会をのぞいて みませんか？

— だれでも参加できる「傍聴」のご案内 —

町の未来を決める大切な話し合いが行われている「議会」は、どなたでもご覧いただけます。「ちょっと気になる」その気持ちで、ぜひ気軽にお越しください。



あなたの声が
まちをつくる
大切な力に
なります

はじめてでも大丈夫です

- 1 受付でお名前などを
ご記入ください
 - 2 傍聴券を受け取り、傍聴席へ
 - 3 予約不要・先着順です
- ※満席の場合は、ロビーで中継を
ご覧いただけます

傍聴の際のお願い

- 気持ちよくご覧いただくために
- 議場では静かにご観覧ください
- 携帯電話は音が出ない設定をお願いします
- 飲食はご遠慮ください
- 拍手や発言はできません
- 写真・録音は許可が必要です
- 小さなお子さまも一緒に傍聴できます

こんな方におすすめ

- 町の取り組みを知りたい
- 議員の活動を見てみたい
- 子どもや家族の学びの機会に
- 将来のまちづくりに関心がある

映り込みについて

議会は、中継・録画配信されています。カメラの位置により、傍聴席の方が映る場合があります。あらかじめご了承ください。



あなたの一歩が、まちを動かします



定例会総括

議員の視点

委員会レポート

委員会報告

政策提言

一般質問

一般質問の行方

傍聴の仕方

尚綱大学

どうなった？ あの質問の行方



過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。

一般質問① 令和7年9月定例会

エアコン購入助成制度について

高齢者 エアコン購入費 臨時助成事業

申請期限 令和8年 6月22日(月)

【要領】

- ① まずは電話・窓口にてご確認ください。
- ② 購入後の申請はできません。
- ③ エアコンの冷暖機能が使用できるか事前に確認をしてください。

次の条件すべてを満たす世帯

- ① 大津町に住民登録がある
- ② 世帯主が65歳以上である
- ③ 世帯主が冷暖機能のエアコンを1台以上所有している（一部条件あり）
- ④ 事前に「冷暖機能の使用できるエアコン」が証明されている

補助金（世帯主1人あたり）

購入・設置総額	補助率	上限額
2/3以下	50%	70,000円

※エアコンは令和7年10月以降に購入・設置したもので、中古品に限りません。



▲設置されたエアコン

質 問 高齢者へエアコン購入助成制度創設を提案

答 弁 助成導入は調査研究し啓発も推進する

進捗状況 R8.4 から高齢者エアコン購入費助成開始

一般質問② 令和7年9月定例会

庁舎・中央公園の利便性向上と地域活性化について



▲中央公園に出店されているキッチンカー

質 問 町内事業者の活用による庁舎・中央公園の利便性向上と地域活性化のために庁舎・公園へ町内事業者出店を提案

答 弁 試行実施へ制度整備を前向きに検討

進捗状況 R8.7 から中央公園にてキッチンカー出店の実証実験を開始

定例会総括

議員の視点

委員会レポート

委員会報告

政策提言

一般質問

一般質問の行方

傍聴の仕方

尚綱大学

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 38

大津町議員との意見交換会を終えて

5月27日（水）に尚綱大学現代文化学部4年生14名と大津町議会広報委員4人とで現代文化学部の社会調査法実習の授業の場において意見交換、グループディスカッションを行いました。4年生の学生は、アルバイトなどの社会体験もある関係で、いろいろと深く考えてくれました。以下学生の考えを抜粋し紹介します。

グループ
1

打出 滯、大川 一葉、草野 亜衣、松川 亜凜



対面でお話してみても私たち学生の質問に真摯に答えてくださりとてもお話しやすかったです。特に、議会のことをより身近に感じてもらえるように議会だよりの工夫を凝らし、SNSを積極的に活用したりするなど議会の見える化にも取り組んでいる点が印象に残りました。また、何をモチベーションにしているのかについては、「町の暮らしや状態を改善していくことで得られる達成感」とお答えいただき、大きな責任を伴う仕事でも地域のために尽力する姿勢に深く感銘を受けました。最後に、議員は住民の代表として地域の声を町政に反映する大切な役割を担っていることを改めて学びました。

グループ
2

岩元 美玲、大家 由起子、城 朱里



「議会に対して何か不満を感じてもその声を届ける方法がわからない」という話題になった際は「議員の多くは電話番号やメールアドレス、住所を公開しているから都合のよい方法で声を届けてほしい」と回答され、私たちが議会に意思を伝える方法は選挙だけでないことを学びました。

議会及び議員の活動の情報を発信する取り組みについて、議会だよりを手に取ってもらうための工夫やInstagramを活用していることを伺いました。表紙をシンプルにするために目次をなくしたという説明に対し「しかし、これでは内容が全く分からないから関心を惹かない、特集記事などがあるのであれば内容に関する文字の情報があつた方がよいのでは」という意見を述べました。また、SNSの活用については「InstagramよりもXやYouTubeの方が見やすい」と他のSNS媒体の活用を提案しました。

グループ
3

上杉 麻琴、上田 心結、坂本 ひなの



議員や公務員は堅苦しいイメージがありますが、大津町議員の方々と話してみると気さくでよく笑っていて優しい目をもつばかりでした。多くの方が家庭を持ち、お子さんを育てるために二足の草鞋を履く方（議員+もう一つの職）もいることを知りました。地方自治について、議員としての働き方について、広報誌やSNSでの広報活動について、お互いに意見を出し合い学び合う貴重な時間でした。遠い存在に感じていた議員の方も、笑うし疲れるし怒るし家族もいるし、私たちとなんら変りのない住民であることを感じました。大学の授業に限らず、議員の方と関われる機会がもっとあればいいなと思います。

グループ
4

森永 りん、王 軼穎、川崎 萌絵、高木 珠蓮



私たちのグループで聞いた質問のうち「大津町の人口が増えている理由は、町の施策があったからですか」の回答として、「働く場所を作ることが大事であり、大津町には工場などの働く場所が多いことが理由の一つである」と教えていただきました。人口増加というと子育て支援や住宅整備などの施策をイメージしていましたが、まずは雇用を生み出し、人が働ける環境を整えることが重要であることを知りました。また、働く場所が増えることで人が集まり、地域全体の活性化につながることを学びました。

今回の意見交換を通して、議会の役割や地域づくりについて理解を深めることができました。特に、住民に情報を届ける工夫や、働く場所を確保することの重要性について学ぶことができ、大変有意義な経験となりました。

